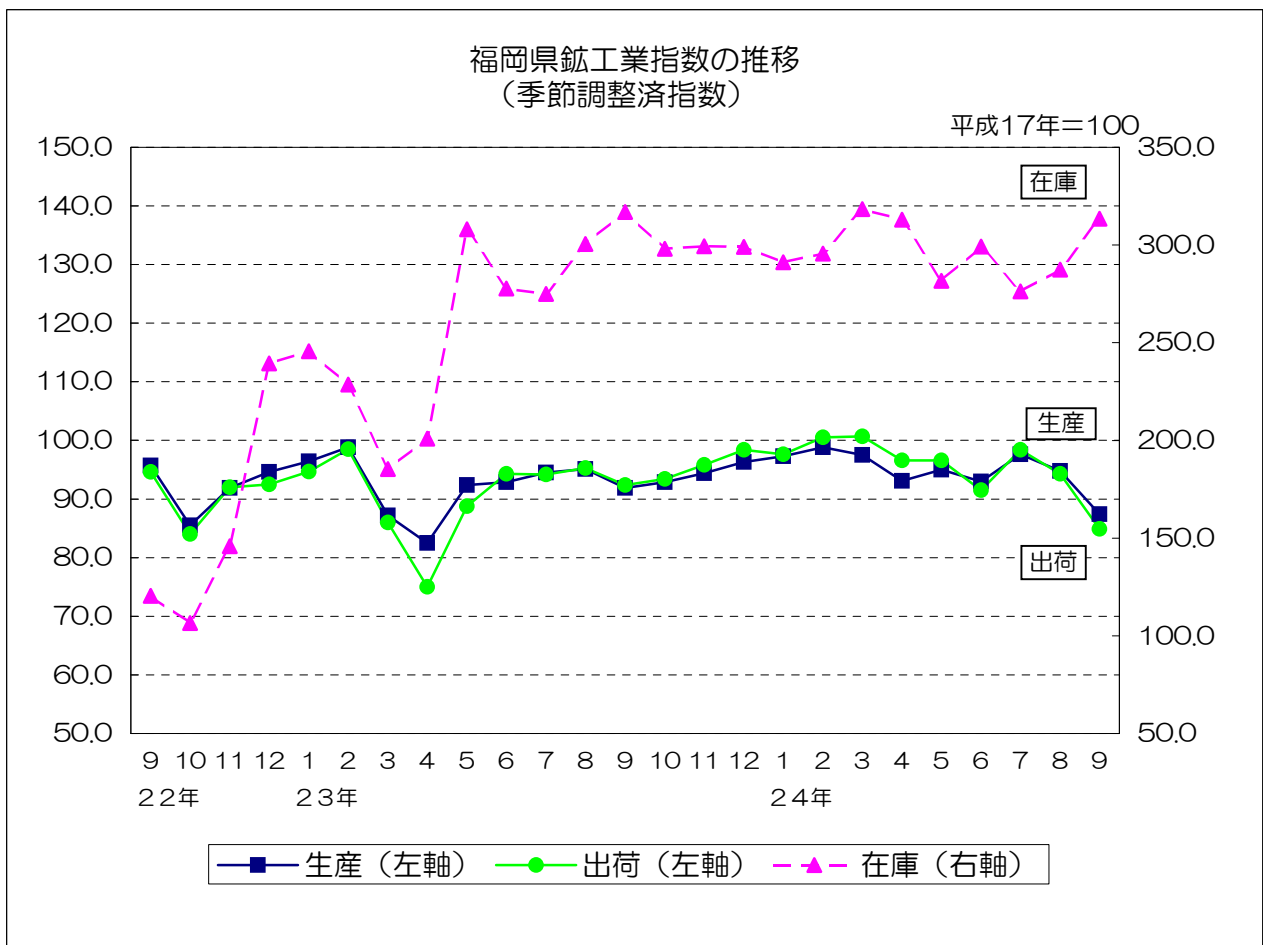


平成17年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成24年9月)



平成24年9月の鉱工業指数

概況

○ 平成24年9月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比7.8%低下の87.4、出荷が同10.0%低下の84.9、在庫が同9.1%上昇の313.5となった。

- | | | |
|--------|---------------------------|------------|
| (1) 生産 | 季節調整済指数 : 87.4で前月比7.8%低下 | (2か月連続の低下) |
| | 原指数 : 94.3で前年同月比4.9%低下 | (2か月連続の低下) |
| (2) 出荷 | 季節調整済指数 : 84.9で前月比10.0%低下 | (2か月連続の低下) |
| | 原指数 : 94.1で前年同月比8.2%低下 | (2か月連続の低下) |
| (3) 在庫 | 季節調整済指数 : 313.5で前月比9.1%上昇 | (2か月連続の上昇) |
| | 原指数 : 295.2で前年同月比1.1%低下 | (2か月連続の低下) |

○ 前月比（季節調整済）	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（18業種中）	: 7業種	0業種	11業種
出荷（18業種中）	: 6業種	0業種	12業種
在庫（18業種中）	: 11業種	0業種	7業種

(1) 九州・全国との比較 (平成17年=100)

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	87.4	▲ 7.8	94.3	▲ 4.9
	出荷	84.9	▲ 10.0	94.1	▲ 8.2
	在庫	313.5	9.1	295.2	▲ 1.1
九州	生産	96.3	▲ 5.6	103.9	▲ 6.6
	出荷	96.9	▲ 4.4	104.8	▲ 5.8
	在庫	136.7	▲ 0.7	137.7	3.1
全国	生産	86.5	▲ 4.1	91.3	▲ 8.1
	出荷	87.6	▲ 4.3	94.0	▲ 8.4
	在庫	107.8	▲ 0.9	105.8	4.8

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
鉄鋼業 金属製品工業 非鉄金属工業 電気機械工業 鉱業 石油・石炭製品工業 窯業・土石製品工業	輸送機械工業 食料品・たばこ工業 化学工業 プラスチック製品工業 一般機械工業 家具工業 木材・木製品工業 繊維工業 電子部品・デバイス工業 パルプ・紙・紙加工業 ゴム製品工業

四半期別指数の動向

平成24年 7～9月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比0.4%低下
出荷が同2.5%低下、在庫が同4.8%上昇となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 93.3で前期比0.4%低下 (2期連続の低下)
原指数 : 95.8で前年同期比0.6%低下 (4期ぶりの低下)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 92.5で前期比2.5%低下 (2期連続の低下)
原指数 : 95.8で前年同期比1.6%低下 (5期ぶりの低下)

(3) 在庫

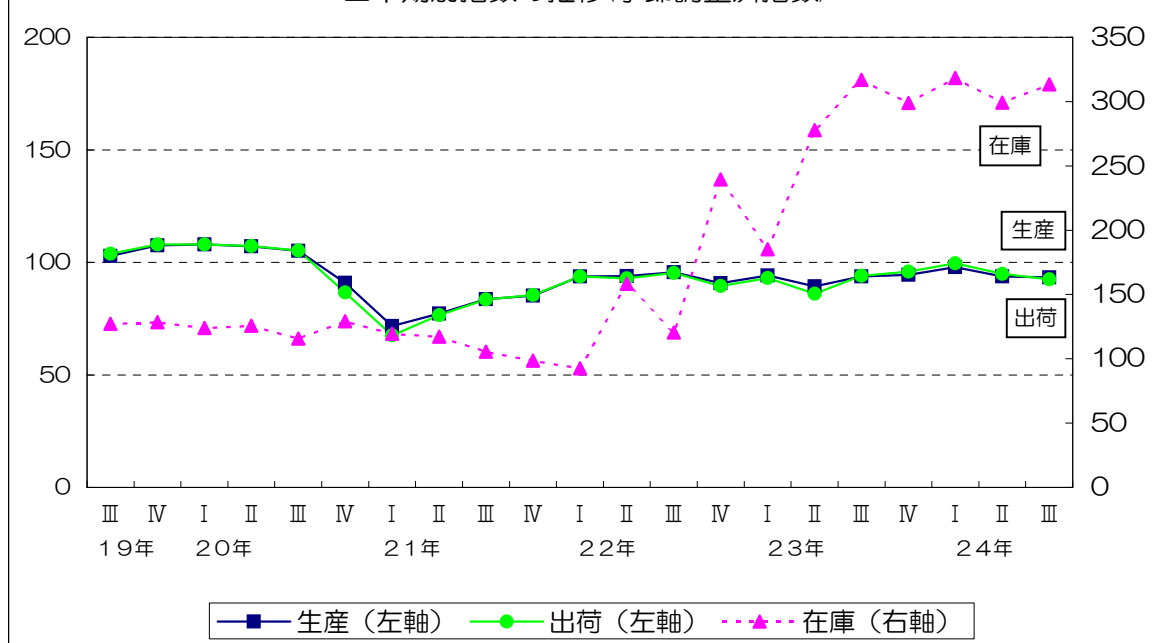
季節調整済指数 : 313.5で前期比4.8%上昇 (2期ぶりの上昇)
原指数 : 295.2で前年同期比1.1%低下 (10期ぶりの低下)

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
23年	7～9月期	93.8	5.0	94.0	9.3	316.9	14.1
	10～12月期	94.5	0.7	95.9	2.0	299.0	▲5.6
24年	1～3月期	97.9	3.6	99.6	3.9	318.3	6.5
	4～6月期	93.7	▲4.3	94.9	▲4.7	299.2	▲6.0
	7～9月期	93.3	▲0.4	92.5	▲2.5	313.5	4.8
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
23年	7～9月期	96.4	▲0.7	97.4	0.3	298.4	152.5
	10～12月期	98.0	3.9	100.0	7.4	285.2	25.3
24年	1～3月期	94.9	4.2	95.6	7.4	289.9	71.7
	4～6月期	90.4	4.9	91.0	9.9	324.5	7.7
	7～9月期	95.8	▲0.6	95.8	▲1.6	295.2	▲1.1

※在庫の数値は期末値。

四半期別指数の推移(季節調整済指数)



全業種・主要9業種の動向
(24年9月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は87.4（季節調整済）となり、前月と比べると、鉄鋼業、金属製品工業などが上昇したが、輸送機械工業、食料品・たばこ工業などが低下したため、総合で前月比7.8%低下（前年同月比4.9%低下）となった。
- (2) 出荷指数は84.9（季節調整済）となり、前月と比べると、鉄鋼業、金属製品工業などが上昇したが、輸送機械工業、食料品・たばこ工業などが低下したため、総合で前月比10.0%低下（前年同月比8.2%低下）となった。
- (3) 在庫指数は313.5（季節調整済）となり、前月と比べると、電子部品・デバイス工業、電気機械工業などが低下したが、輸送機械工業、化学工業などが上昇したため、総合で前月比9.1%上昇（前年同月比1.1%低下）となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目 (前月比)
鉄鋼	4.2	4.6	鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延広幅帯鋼 等
金属製品	2.4	9.3	粉末冶金製品、軽量鉄骨系パネル、ドラム缶 等
一般機械	▲1.6	▲8.6	貯蔵槽、バルブ・コック、C(W) BN工具 等
電気機械	1.2	▲16.9	電力変換装置、交流電動機 等
電子・デバイス	▲1.3	▲37.4	光電変換素子、計数回路 等
輸送機械	▲19.9	▲13.4	普通自動車、自動車部品、小型自動車
窯業・土石製品	0.1	▲1.7	耐火レンガ、生コンクリート、ほうろう鉄器 等
化学	▲8.9	25.6	医薬品、ポリカーボネート、触媒 等
食料品・たばこ	▲11.3	0.3	ビール、めん類 等
総合	▲7.8	▲4.9	—

[出荷]

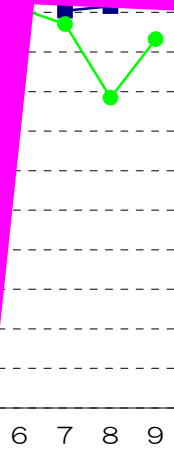
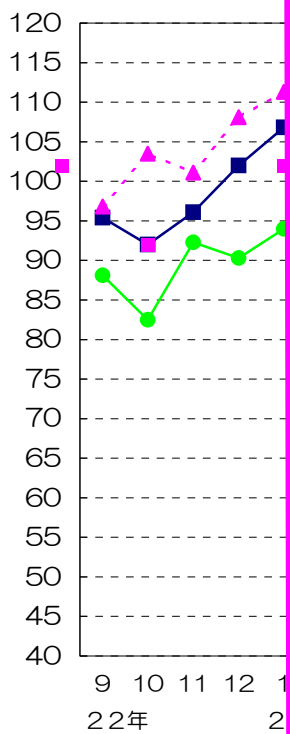
業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目 (前月比)
鉄鋼	9.3	▲0.4	特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延広幅帯鋼、普通鋼熱間鋼管 等
金属製品	4.4	0.8	ガス湯沸器、飲料用缶、鉄構物 等
一般機械	1.3	▲6.9	半導体製造装置、クレーン、ショベル系掘削機（油圧式） 等
電気機械	0.1	▲15.0	電力変換装置、交流電動機 等
電子・デバイス	▲3.6	▲28.9	光電変換素子、シリコンダイオード、計数回路
輸送機械	▲20.6	▲14.4	普通自動車、自動車部品 等
窯業・土石製品	▲6.8	▲6.0	耐火レンガ、ほうろう鉄器、生コンクリート 等
化学	▲11.0	10.2	医薬品、触媒、ジフェニルメタンジイソシアネート 等
食料品・たばこ	▲12.6	0.7	ビール、発泡酒 等
総合	▲10.0	▲8.2	—

[在庫]

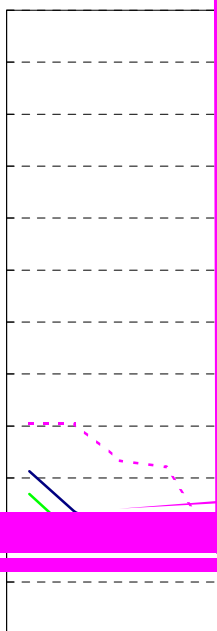
業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目 (前月比)
鉄鋼	0.7	▲2.5	鋼帯、冷延広幅帯鋼、銑鉄 等
金属製品	9.2	25.8	飲料用缶、ガス湯沸器 等
一般機械	▲3.5	123.3	ショベル系掘削機（油圧式）
電気機械	▲20.2	▲2.7	電力量計
電子・デバイス	▲100.0	0.0	計数回路、線形回路
輸送機械	22.1	▲3.9	普通自動車
窯業・土石製品	▲2.9	▲8.0	道路用コンクリート製品、プレストレストコンクリート製品 等
化学	2.5	6.6	ビスフェノールA、ジフェニルメタンジイソシアネート、触媒 等
食料品・たばこ	▲3.3	0.7	ビール、焼酎、その他の調味料 等
総合	9.1	▲1.1	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

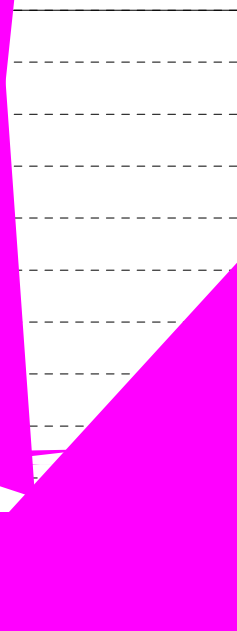
鉄鋼業（季節調整済み）



金属製品工業



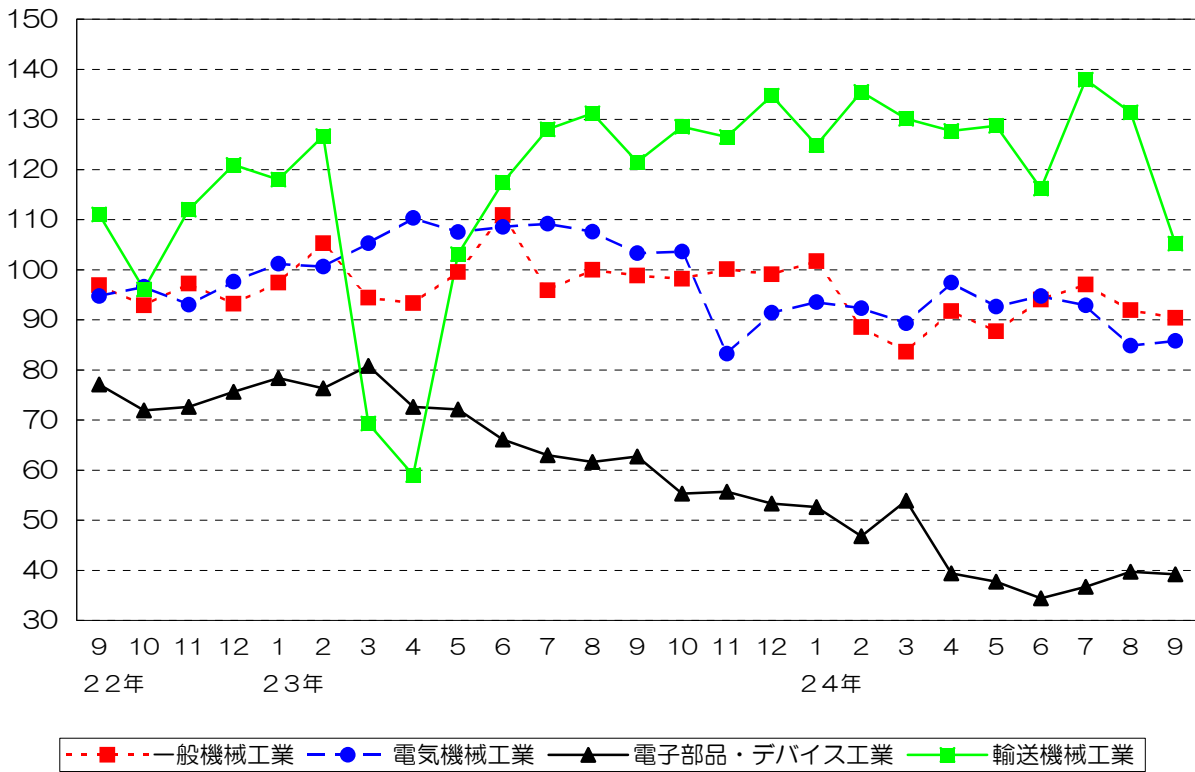
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

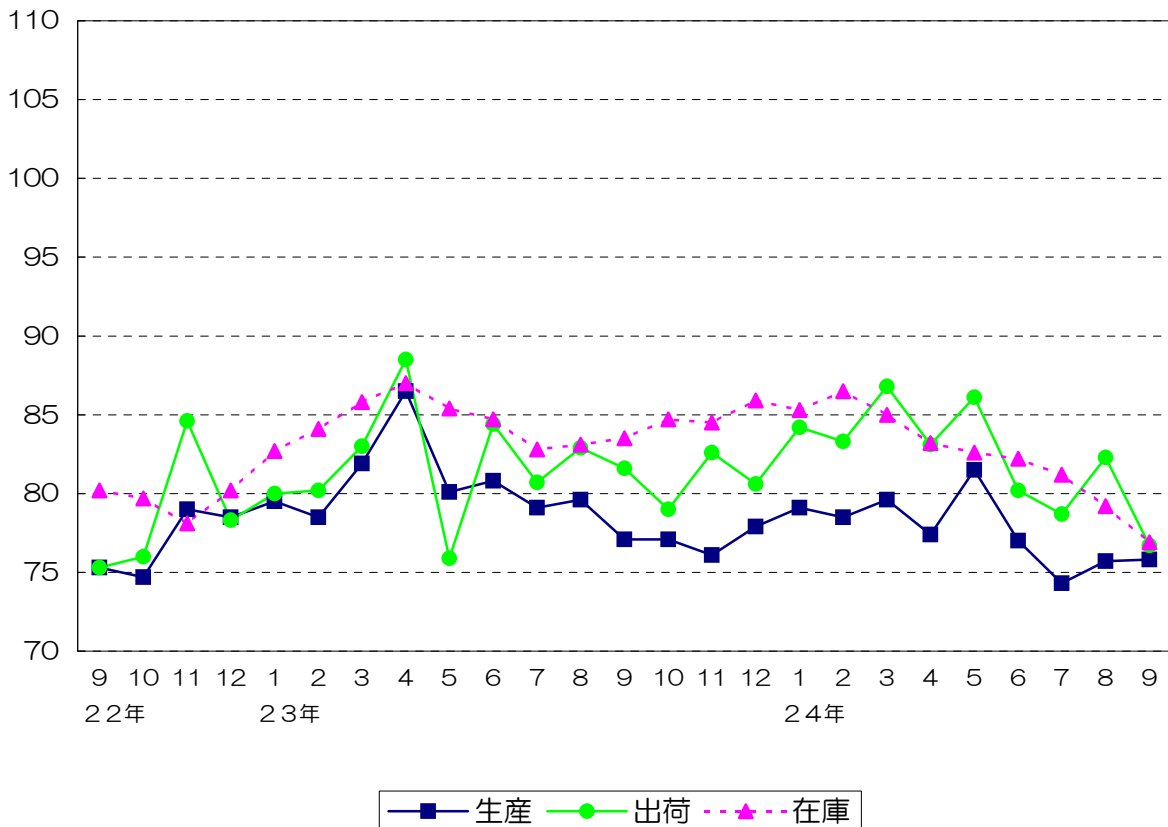
*生産指数のみ。

平成17年=100



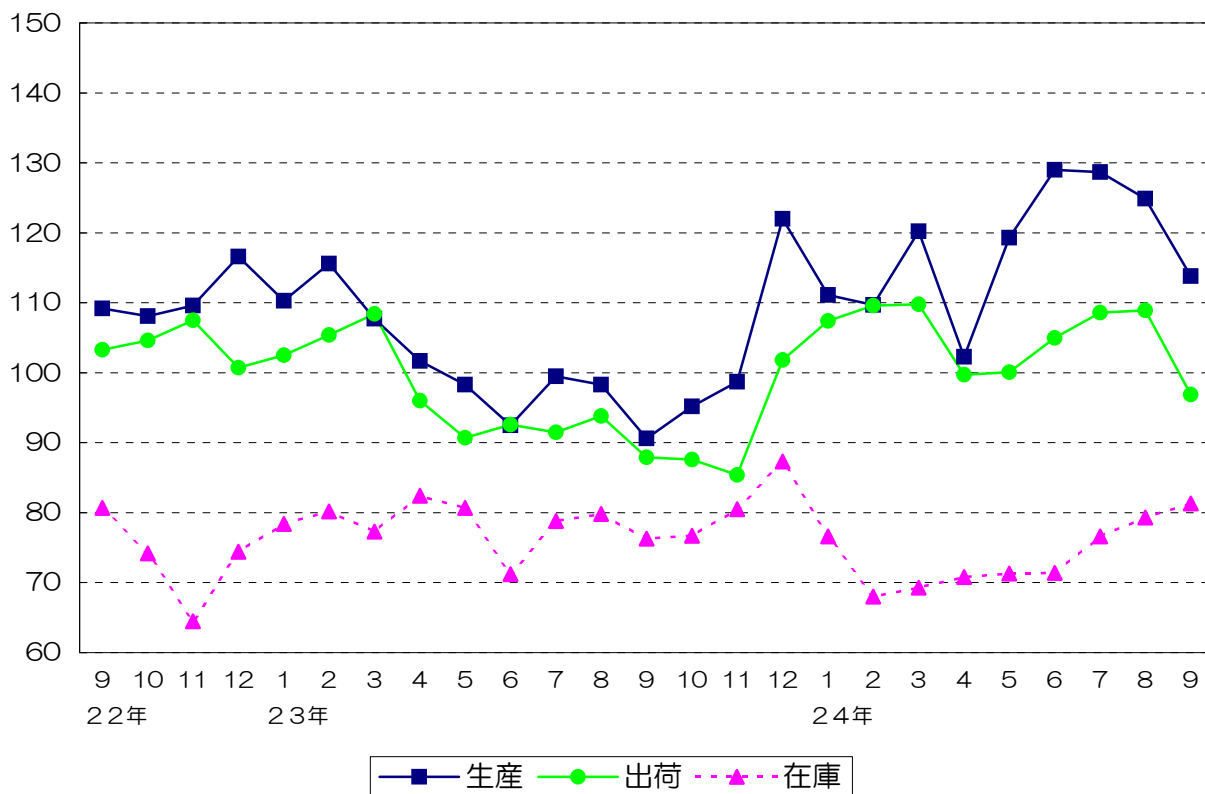
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



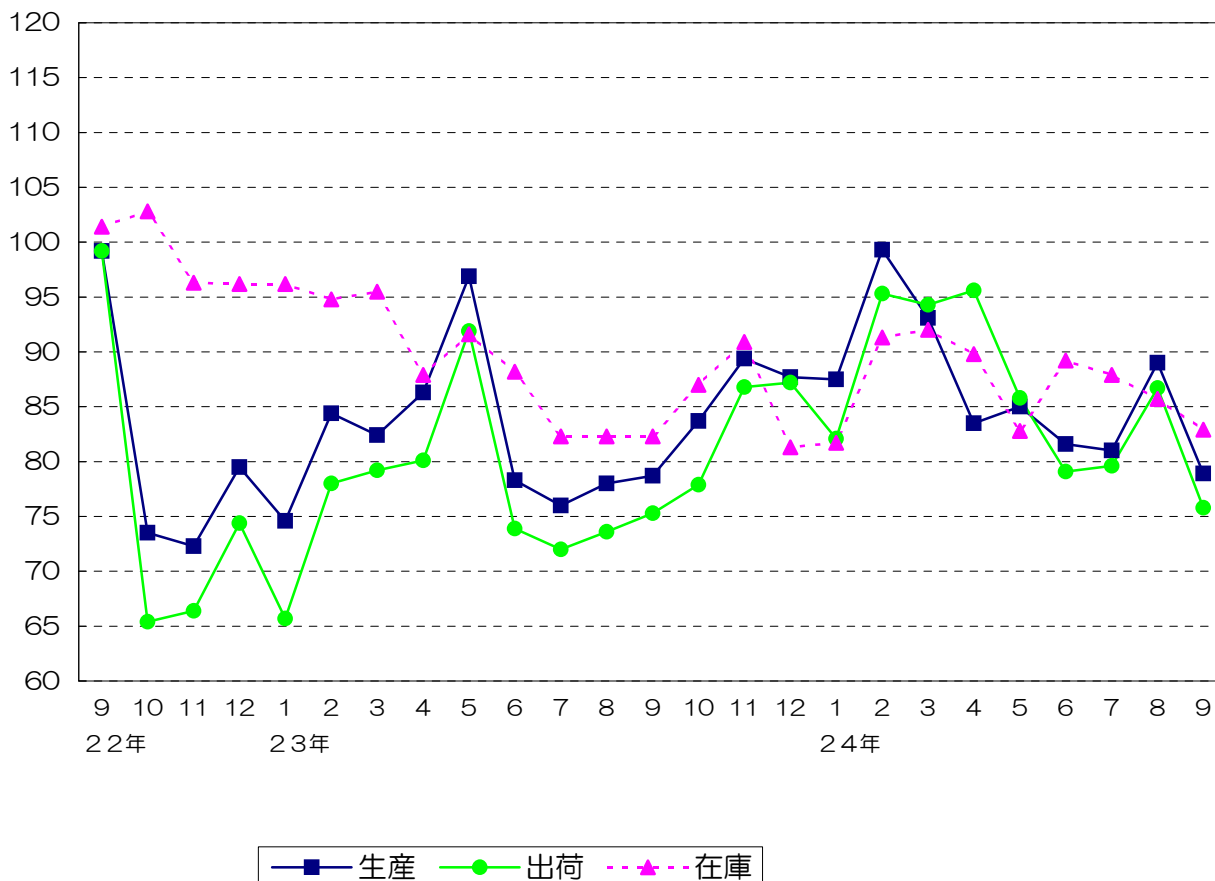
化学工業（季節調整済指数）

平成17年=100



食料品・たばこ工業（季節調整済指数）

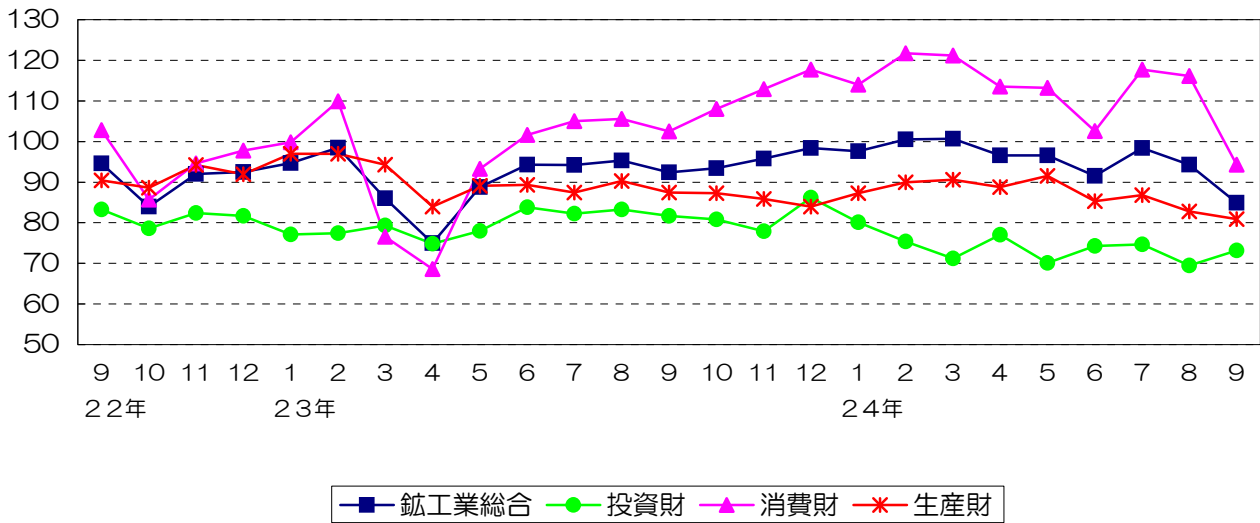
平成17年=100



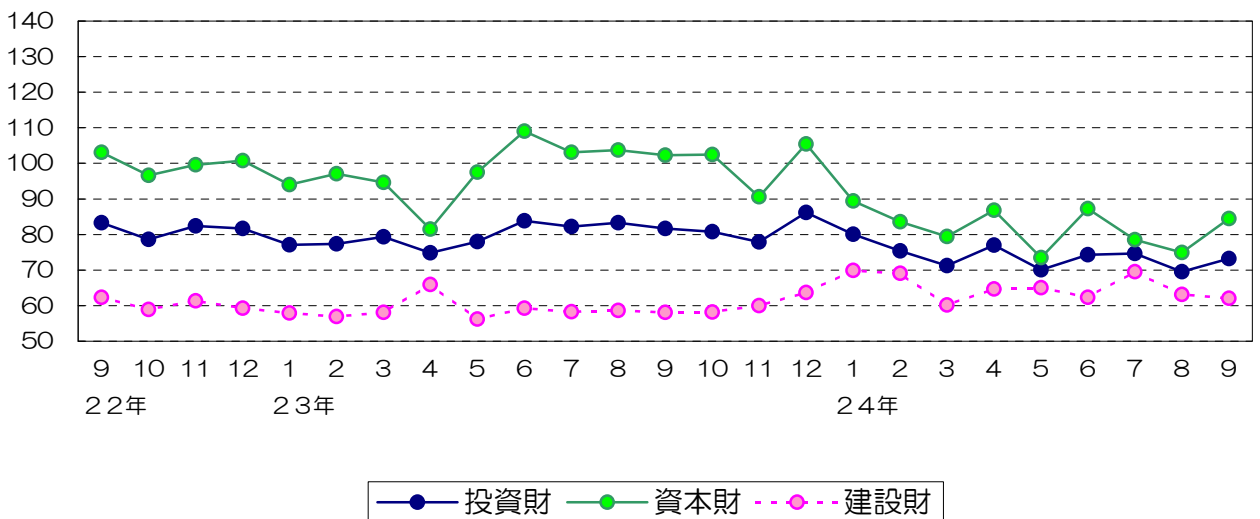
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

鉱工業総合

平成17年=100



投資財



消費財

